

2020年4月12日(日)

バードウォッチング入門①

～鳥たちのさえずり～

春になると、縄張りの主張や求愛のために様々な鳥がさえずるようになります。今回はあいにくの雨となりましたが、傘をさしながら園内を散策し、さえずる鳥たちの特徴を学びました。



最初にボイスペンで鳴き声を聞きながら資料の説明。悪天候でしたが2名の参加がありました。



まず観察ホールからウグイスを探しました。時々枝先でさえずることがありますが、茂みにかくれていることが多い鳥です。



中の島周辺の草地に縄張りを持つヒバリを探しました。草地で繁殖し、草地の上空で飛びながらさえずる鳥です。



ビジターセンターの前から観察。淡水池の上を旋回するツバメの群れが見られました。さえずることはなく、ずっと採餌中でした。



傘をさしながら園内を散策。雨天でしたが、樹林のあちこちからウグイスのさえずりが聞こえました。



園路を歩くキジバトを観察。この時は採餌中でしたが、オスは求愛のために「デーデー、ポッポー」と鳴きます。



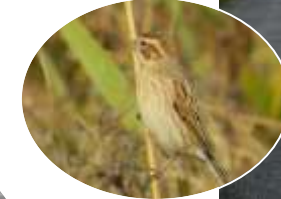
北園路の樹林で縄張りを持つウグイスはよく姿を現すのですが、今回は鳴き声のみでした。



写真を見ながらヒクイナを紹介。繁殖期になるとヨシ原などから鳴き声が聞こえることがあります。



ノビタキ



オオジュリン



ビジターセンターへ戻る途中にノビタキやオオジュリンを観察。雨でも活発にエサをとる様子が見られました。



最後にさえずる鳥の動画を視聴。鳴き方や場所など、それぞれの特徴を紹介しました。

今回は雨天のため活発にさえずる鳥が少なく、確認できたさえずりはウグイスの1種でした。まだまださえずりが盛んな時期なので、身近な場所でも探してみてください。